



スポーツを通じて地域間の経済交流

昨年9月、独立リーグ兵庫ブルーサンダーズ（兵庫県三田市）の球団代表が西ノ島に来町されました。その際の交流がきっかけで、10月に行われた「島RUN2014」に球団の職員とともに出場していただきました。当時から、離島である隠岐・西ノ島と独立リーグ兵庫ブルーサンダーズとで、何か交流活動が出来ないかという話し合いを重ね、今年7月に育成チームの交流合宿、また、9月には1軍チームが来島しての野球イベントが行われることが決まりました。



野球教室

イベントの決定に際し、球団ホームグラウンド「キッピースタジアム」にて、リポビタンD プレゼンツ「隠岐・西ノ島 BASEBALL シリーズ 2015」の記者会見が開かれ、升谷町長が出席しました。



福間投手

7月の育成チームの交流合宿では、野球以外にも、隠岐の食材でのBBQや島内観光、外浜海水浴場での遊泳などで隠岐の良さを堪能してもらい、西ノ島総合公園グラウンドを黒土整備する際には、整備を手伝ってもらうなど地域貢献活動にも参加していただきました。



池内投手

9月には、一軍チームとプロ野球レジェンズが来島。トークショーは球界の裏話など笑いを交えたお話を聞かせてもらうことができ、多くのお客様に喜んでいただきました。

また、グラウンドでの野球イベントでは、現役選手の華麗なる動きを近距離で体感することができ、元阪神タイガースの池内豊投手、福間納投手の投球が始まると、懐かしいフォームに観客から拍手が沸きました。その他にも野球教室が開かれたり、住民参加型のイベントが行われました。



ファイト！一発！

今回の交流事業は、関西圏でのテレビニュースや新聞各社の記事、週刊ベースボール等で報じられ、隠岐・西ノ島の全国発信につながりました。三田市商工会の会長や理事も来られ、初めての隠岐・西ノ島を堪能していただきました。今後も、今回の兵庫ブルーサンダーズとのイベントをきっかけに、『山のまち』と『海のまち』の経済交流も含めたつながりが続くことを期待したいです。

音つなぎ フェスティバル 隠岐島前 2015

平成27年9月20日（日）から9月22日（火）までの3日間にわたって、「音つなぎ2015」が開催されました。



音つなぎは、「『アーティストが集う島への実現』を合言葉に、期間中、島中を音楽と音楽を愛する人であふれさせたい。」また、「音楽にて島前3島を盛り上げ、いろいろなものを「つなぐ」ことができるのではないか。」といった思いが込められています。

離島としての持ち味を活かすため、できる限り電力や電子機器を排し、周辺環境や人の営みに配慮したアコースティック限定であることや、牧畑（※）をモチーフとして1日ごとに会場を変え3島を巡る形式など、全国的にも他に類を見ない挑戦的な取り組みとなっております。

会期中はプロ・アマ計14組のご出演を頂き、島内外から数多くのお客様にご来場いただきました。幸い天候に恵まれ、全日程を予定していた野外ステージで開催することができ、盛況のうちに幕を閉じました。

今後、このイベントがどのように成長していくのか、全くの未知数ですが、イベントを継続させ、今回得られた数多くの出会いや経験をもとに、音楽によって人と人とがつながる島へと前進していければと思っています。

最後になりますが、ご来場頂いたお客様をはじめ、出演者の皆様、関係者の皆様には多大なご協力を頂きありがとうございました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

※牧畑・・・隠岐諸島で、昭和35年ごろまで営まれていた、放牧と畑作を4年で輪作する世界的にもユニークな農法。

音つなぎ実行委員会

参加者からの声

- ・ほのぼのとした時間が流れ、ゆったりくつろぎながら音楽を聴けた。
- ・青い空と海を背景にフェスが見れるなんて。
- ・他のフェスには無いアットホーム感があった。
- ・ちびっ子から大人まで、ファミリーで楽しめるフェスは見たことがない。
- ・青空にトンビが飛んでいて、その下では演奏するミュージシャン。素敵でした。

